

AISIN TECHNICAL REVIEW VOL.24 2020 14



図3 グラフィックレコーディング実施例

アイデア創出の過程を残していく議事録の代わりに、図3に示す「グラフィックレコーディング」により可視化して、議論や対話などを絵や図などを記録していくファシリテーションの手法など取り入れ活動を進めている。「グラフィックレコーディング」とは、議論や対話などを絵や図などのグラフィックに可視化して記録していくことで会議の内容を一つの絵として見せることで関係性や構造が直感的にわかり、全体を俯瞰できるため、参加者の認識が合わせやすくなるというメリットがある。また、可視化し振り返ることで隠れた問題点を浮き彫りにする、現場の雰囲気など言葉で表現されていない部分まで描いて気づきを与えるなど、「絵のついた議事録」にとどまらない、議論をより良いものとする工夫などを積極的に取り入れている。

3. 開発の取り組み実施例

本章では、当ワーキンググループにて企画活動により取り組んだ、おもてなし向上に向けた商品開発の事例について述べる。

3.1 見守り安心ドアシステム

見守り安心ドアシステムは、ユーザがスイングドアを開閉して車両に乗り降りする際に感じる身体的・心理的な負担を軽減し、安全・安心で快適な乗降性を実現することを目指すシステムである。

従来ドアロックやドアチェックなどのメカ部品によって実現されてきたドア開閉や開度保持機能に対して電子制御を取り入れることによって、ドアの開閉や保持力を自在にコントロールすることが可能となり、さらに統合制御ECUによって障害物センサや外部システムの情報を活用することが可能なシステムとして構成した。見守り安心ドアシステムのシステム構成図を図4に示す。

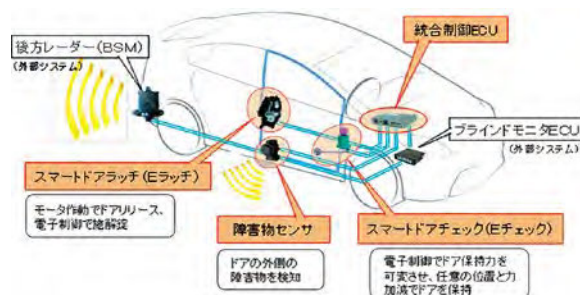


図4 見守り安心ドアシステムの構成

また、本システムの実現により得られる新しい価値と目指す姿を図5に示す。



図5 見守り安心ドアシステムの新しい価値と目指す姿

このようにこれまでのスイングドアにはないおもてなし
感を感じることができる乗降性の実現を狙いとして開発
に取り組んでいる。

3.2 ナビ連携シートシステム

ナビ連携シートシステムは、車両走行に伴い発生する加速度変化や、運転状況の変化により乗員が感じる身体的・心理的な負荷を軽減することで安全で快適な移動を実現することを目的としたシステムである。

ニューマチックシートシステムと、ナビシステムおよびコネクティッドモジュールを連携可能なシステムとして構成した。ナビ連携シートシステムのシステム構成図を図6に示す。

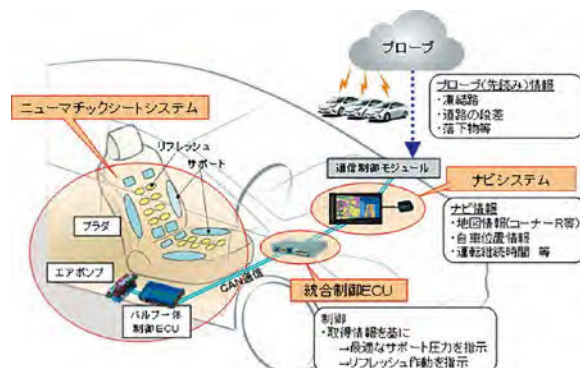


図6 ナビ連携シートシステム構成図

本システムの導入により、走行経路上にあるカーブのコーナーR情報や交差点の形状情報と進入速度により予測された横Gの大きさに合わせて最適なサポート制御を行うことが可能となる。さらに運転状況に応じてリフ

レッシュ機能を作動させることで最適なタイミングで疲労軽減機能を提供することができる。本システムにおいて実現される機能とうれしさを図7に示す。



図7 ナビ連携システム機能とうれしさ

4. おわりに

開発の取り組み実施例にて説明した、見守り安心ドアシステムでは障害物にぶつからない、ナビ連携シートシステムでは運転疲労の低減などのうれしさを作りこんできた。今後は、さらに融通の利く、また深い状況理解に基づく、うれしさが求められてくると考えられる。一例として、見守り安心ドアでは障害物に応じた動かし方、乗車する人の行動に応じたドアの開閉、ナビ連携シートシステムではユーザごとの身体的状況の把握によるシート操作などである。近年の自動車業界の動向はCASEに向けてオーナーカーからシェアカー主体となっていく予測の中でも、工業製品が愛車であるように、かけがえのないパートナーとしてユーザの理解をより深めた機能をもつコンセプトカーが発表されている。

他業界においても、特技が上達するペット型ロボットやヒトのような感情表現が豊かなパーソナルロボットなどが製品化されている。次世代のおもてなし製品開発に向けて、利便性はこれまで以上に織り込みつつも、ユーザの表情・動作・声色から複合的に感情などを推定する。また、web上のニュースといった一般情報と、SNS発信や位置情報、車内での会話履歴など個人に関する情報を比較し、頻出するトピックからユーザの嗜好を推定する、感情認識や嗜好推定といった技術を取り込み、100年に一度の大変革期、製品開発に向け快適性・利便性向上だけでなく、お客様の感性を刺激し、驚きと感動を与える商品の企画開発を目指していきたいと考える。

参考文献

1) Technova Report:自動車のおもてなし, No.163,2017

筆者



梶野 浩司

ボデー先行開発部
おもてなしサービス企画に従事



福井 宣夫

ボデー先行開発部
おもてなしサービス企画に従事



木暮 孝典

ボデー先行開発部
おもてなしサービス企画に従事